

事務事業名		富士見町集会所まなびや会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	生涯学習課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	担当係	人権教育係	担当課長名	小曾根治夫
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 人権問題の解決					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14359	一般	10	4	1	富士見町集会所まなびや会支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S63年度～ 年度		根拠法令 条例等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 佐野市同和対策集会所条例、施行規則		実施方法		直営	
	事業区分		事業分類		リーディングプロジェクト		市長マニフェスト		該当なし		
	事業区分		事業分類		市長マニフェスト		市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
富士見町集会所まなびや会に補助金を交付し、まなびや会が行う人権学習を支援している。 まなびや会とは、集会所事業「人生まなびや講座」の学習活動の充実を図り、人権問題についての理解とその解決のための実践的態様の育成、会員相互の資質の向上及び親睦研修を図ることを目的として設立した団体。集会所事業「人生まなびや講座」受講生を会員として運営されている団体である。			(市の活動) ・まなびや会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行った。 (まなびや会の活動) ・人権学習講演会、高齢者交流会、交流研修会、集会所奉仕作業、発表会の開催。人権学習会の参加等市事業に積極的に協力をし、協働的活動をされている団体。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			補助した団体の活動数	事業	72	78	78	78	78	
			補助した団体活動の活動規模(人権学習会)	人	100	89	80	80	80	
			補助した団体活動の活動規模(高齢者交流会)	人	59	56	60	60	60	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
文化教養講座事業「人生まなびや講座」の受講者を対象にした自主活動団体の「富士見町集会所まなびや会」			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			まなびや会	団体	1	1	1	1	1	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
集会所事業「人生まなびや講座」の学習活動の充実を図り、人権問題についての理解とその解決のための実践的態様の育成、会員相互の資質の向上及び親睦研修を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			研修会等の参加者で理解が深まったと回答した参加者の割合	%	86.0	93.2	95.0	95.0	95.0	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
人権問題に関する活動が積極的に行われている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			運動団体が行う研修・啓発事業実施数	回		165.0	165.0	170.0	170.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		80		80		70		70		70
	事業費計(A)	千円		80		80		70		70		70
	事業費の内訳	千円	交付金	80	交付金	80	交付金	70	交付金	70	交付金	70
人件費	人	1	人	1	人	1	人	1	人	1		
のべ業務時間	時間	100	のべ業務時間	100	のべ業務時間	100	のべ業務時間	100	のべ業務時間	100		
人件費計(B)	千円	389	人件費計(B)	394	人件費計(B)	394	人件費計(B)	394	人件費計(B)	394		
トータルコスト(A)+(B)	千円	469	トータルコスト(A)+(B)	474	トータルコスト(A)+(B)	464	トータルコスト(A)+(B)	464	トータルコスト(A)+(B)	464		

事務事業名	富士見町集会所まなびや会支援事業	担当部	教育総務部	担当課	生涯学習課	担当係	人権教育係
-------	------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和54年度に、「趣味の会」が発足し、会員を対象として集会所事業「趣味の講座」を開講した。昭和63年に、会員自らにより同和問題等の人権意識が高められるよう補助金を交付し、団体の育成を図った。なお、平成19年度から集会所事業「人生まなびや講座」と名称を変えたことから、団体名を「富士見町集会所まなびや会」と改称した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成14年3月の地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の期限が切れ、同和対策から同和問題を始めとする様々な人権問題を解決していくという一般対策に移行された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	富士見町集会所まなびや会を支援することにより人権教育の参加者確保及び充実が図られる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	人権の尊重される社会づくりは市の責務であり、人権教育を推進する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	会員自らにより人権問題への理解を深めており、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	会員自らが進んで人権問題への取り組みが図られている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	団体の事業も充実しており、妥当な金額である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	会の運営費は会費を徴収し受益者負担をしているので、適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
人権啓発事業は長期的継続が重要であり補助の継続が必要なため廃止はできない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			